

平成26年度の取り組み及びその予算について

＜高知県新エネルギービジョンの推進によって実現を目指す本県の姿＞

10年後のめざす姿

新エネルギーの導入促進

（関連産業の振興・活性化、メリットを最大限地域へ還流、災害に強い地域づくり、エネルギー自給率の向上、地球温暖化対策への貢献等）

取り組みのポイント	これまでの取り組み状況	平成26年度の取り組みの方向性	予算額
太陽光 (1)大規模太陽光発電（メガソーラー）の整備 (2)中小規模太陽光発電設備の初期費用の負担軽減	○ <u>こうち型地域還流再エネ事業の上げ</u> ・官民共同出資による発電事業会社の設立準備 ・県内各地域の適地において地域還流再エネ事業を展開 ○ <u>こうち再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討</u> ・メガソーラー事業スキームの構築 ・公共施設の屋根貸し方式等による導入の検討	○ <u>こうち型地域還流再エネ事業の取り組み</u> → 安芸市含む6箇所での発電開始に向け、着実に実行 → 県内各地域への展開に向け、新たな候補地の開拓 ○ <u>公共施設の屋根貸しの具体化への取り組み</u>	再エネ事業 出資金 31,000千円 会議費等（共通） 1,846千円 再エネ活用補助金 20,000千円
小水力 ○小水力発電導入に向けた検討 ○県内市町村等に対する小水力発電導入に向けた技術的支援	○ <u>地蔵寺川発電所(仮称)建設計画</u> ・基本設計業務の完了。実施設計業務に着手。 ○ <u>こうち再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討</u> ・事業化適地の絞り込みや導入市町村支援	○ <u>地蔵寺川発電所(仮称)の建設に向けた取り組み</u> → 【参考資料2】 ○市町村等による導入促進 → 市町村や土地改良区等を対象とした情報交換会や勉強会を開催	地蔵寺川発電所 実施設計委託費 43,200千円(繰越額) 再エネ活用補助金 20,000千円 会議費等（共通） 1,846千円 再エネ活用補助金 20,000千円
風力 ○ <u>地元のメリット創出に向けた支援</u>	○ <u>こうち再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討</u> ・構原町四国カルストにおける風力発電事業化計画支援 ・事業の実現に向けた基本協定締結	○ <u>市町村への助言や支援、ノウハウ蓄積</u> → 構原町四国カルストにおける風力発電事業化の取り組み（こうち型スキームによる事業展開の可能性の検討） ○ <u>洋上風力発電の可能性の検討へのチャレンジ</u> → 漁協、自治体、事業者等を対象とした勉強会の開催 ○ <u>民間企業等による導入促進</u>	再エネ活用補助金 20,000千円 会議費等（共通） 1,846千円 再エネ活用補助金 20,000千円
木質バイオマス (1)木質バイオマス燃料供給体制の強化 (2)燃焼灰の処理手法周知 (3)効率的な施設整備やボイラー導入 (4)需要側を中心とした集団化による効率的な事業展開 (5)木質バイオマス発電の推進	○ <u>燃料供給地点から利用機器までの集団化</u> ・地域循環システムの仕組みの検証、普及 ・木質ペレット生産施設の改善 等 ○ <u>民間企業の発電事業の推進</u> ・施設整備の推進、原木の安定供給に向けた調整	○ <u>木質バイオマス利用機器の普及促進</u> 【参考資料3-1】 → 木質バイオマスボイラーの導入などに支援 ○ <u>燃焼灰処理・再生利用の促進</u> 【参考資料3-1】 ○ <u>木質バイオマス発電事業に必要な施設整備</u> → 県内2箇所において木質バイオマス発電事業に必要な施設整備を支援【参考資料3-2、3-3】	ボイラー等導入補助金 361,085千円 焼却灰処理等補助金 2,761千円 発電施設整備補助金 3,480,309千円 再エネ活用補助金 20,000千円
防災拠点等の導入促進 ○ <u>防災拠点等に対する導入の支援</u>	○ <u>国の交付金を活用した基金の造成</u> ・グリーンニューデール基金：18億円 ・市町村等の事業要望書の取りまとめ	○ <u>グリーンニューデール基金を活用した公共施設など防災拠点施設等への導入支援</u> → 市町村や民間事業者の取り組み支援	再エネ導入推進補助金 市町村等：1,343,705千円 再エネ導入事業費 県有施設：358,549千円
農業分野での新エネルギーの有効活用 (1)重油代替暖房機の普及促進（木質バイオマスボイラー、ヒートポンプ等） (2)こうち新施設園芸システムの確立に向けた研究開発（ヒートポンプ利用技術と機能強化に関する研究）	○ <u>こうち新施設園芸システムの確立に向けた研究開発</u> → 農業試験研究費：36,035千円	○ <u>こうち新施設園芸システムの確立に向けた研究開発</u> → 化石エネルギーの使用量削減とそれに代わるエネルギーの利用方法や施設内環境制御など、高収益に繋がる新園芸システムに関する研究を実施 ○ <u>次世代施設園芸団地の整備</u> → 木質バイオマスの利用により、化石燃料の使用料を65%、燃料コストを40%削減	先進的技術を導入した「こうち新施設園芸システム」開発事業費 44,116千円 次世代施設園芸団地の基盤整備 665,485千円 (債務負担行為1,003,263千円)
普及啓発 産業育成 ○ <u>新エネルギー関連産業育成体制の構築</u>	○ <u>新エネルギー産業交流会の実施</u> ・県内事業所アンケートの実施 ・新エネルギー産業交流会の実施 ○ <u>普及啓発活動の実施</u> ・新エネルギー導入促進協議会による講演開催	○ <u>新エネルギー関連市場・技術動向等の企業向け情報提供</u> ○ <u>新エネルギー関連製品の開発の可能性の検討</u>	会議費等 3,725千円

NEW

NEW